

未来を開く

長井市立長井北中学校 No61 令和4年12月1日

第2回「学校評価」結果報告

「学校評価」へのご協力ありがとうございました。第1回目の結果と合わせて成果と課題を明確にし、より良い学校づくりに生かします。

※数値は、上段が今回、下段が前回との比較です。単位：%

1 確かな学力の育成	生徒	保護者	教職員
①授業では、授業内容を理解しようと意欲的に取り組んでいる	95 (-2)		
②先生方は、わかりやすく、楽しい授業をしてくれている	84 (-1)	85 (-7)	100 (+14)
③自分は、授業中に積極的に友達と話し合ったり教え合ったりしている	88 (-4)		94 (+4)
④5時間授業が増えたことで、以前より家庭学習に計画的に取り組んでいる	72 (-1)	63 (-7)	81 (-5)
2 自尊心の育成	生徒	保護者	教職員
①自分は、自信をもって自分の長所を言える	77 (+2)	98 (±0)	94 (-1)
②自分の役割に責任持って活動することができている	95 (+3)		100 (+5)
③元気・笑顔・会釈・自分からのあいさつができている		93 (-1)	
④いじめや嫌がらせがなく、温かい雰囲気の中で生活している	97 (±0)	92 (-1)	88 (-12)
⑤先生方や友だちは、困ったときに相談のってくれる	94 (-1)		

3 健康・体力の育成	生徒	保護者	教職員
①自分は家庭で決めたルールを守ってインターネットやゲームをしている	85 (-2)	62 (-1)	100 (+5)
②朝食をしっかりと取り、睡眠時間を確保している	83 (-2)	74 (-9)	81 (±0)
③交通ルールを守り安全に注意し、事故やケガに遭わないよう努力している	100 (±0)		100 (±0)
④5時間授業が増えたことで、家庭での生活にゆとりができている	87 (+5)	69 (+1)	
4 地域の学校・開かれた学校づくり	生徒	保護者	教職員
①北中は、地域に貢献し地域と共に伸びる学校になっていると思う		88 (-7)	94 (+4)
②学校だより、学年・学級だより等で学校生徒の様子がよくわかる		94 (-2)	100 (±0)

※数値は、4段階評価のAとBの数値の合計。

(A:大変よくできている B:まずまずできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない)

※回答数:生徒227名 保護者182名 教職員19名

項目ごとの結果を一覧表にまとめて整理してみました。

生徒、保護者、教職員の設問表現は多少異なりますが、関連項目ごとの数値を掲載しました。生徒設問項目における「〇〇している、〇〇してくれている」は、教職員の項目では「〇〇するよう指導している、〇〇と声かけしている」などと読み替えてください。

学校としては、次のような《考察》を行いました。

.....

1 確かな学力 ○:成果 △:課題 (+,-は前回比)

① 生徒の授業への意欲 A,Bの合計が95%

○「わかりたい・わかろうとする生徒

△学年差(学年別Aの割合:1年63%、2年44%、3年65%)

② わかりやすい授業

○わかる楽しい授業が展開

△生徒と教員に意識の差。教材研究に充てる時間増加(-19)

③ 話し合いや教え合い

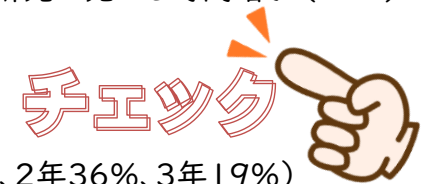
○グループやペア学習の工夫

△学力向上につながる学び合い

④ 家庭学習

△C,Dの割合が多い(1年31%、2年36%、3年19%)

.....



2 自尊心の育成○：成果 △：課題（+，-は前回比）

- ① 自分の長所を言える
 - よさを見つけ、個を伸ばそうとする高い意識
 - △生徒同士が、互いによさを言える関係づくり
- ② 責任感
 - 生徒、教員ともに高い
 - △係活動や委員会活動で、やり切る体験の積み上げ
- ③ あいさつ
 - 自然ではっきりしたあいさつを実行
 - △会釈そして自分から
- ④ いじめや嫌がらせがない
 - 安全・安心な生活の基盤あり
 - △「0ゼロ」で、みなが居心地のよい学校を実現
- ⑤ 相談にのってくれる
 - 生徒と教員間の強固な信頼関係
 - △相談できない生徒を見逃さない、見届けや声かけ

3 健康・体力の育成○：成果 △：課題（+，-は前回比）

- ① メディアのルール
 - △守っているつもりの生徒、守らせられないと感じている保護者、学校の危機感。家庭と学校が一体となった指導が急務
- ② 朝食・睡眠
 - 生活リズムに対する保護者の意識高揚
 - △学校での保健指導と家庭での声かけ
- ③ けが・事故防止
 - 交通安全や事故防止への高い意識
 - △具体的な指導の継続（共有と即時指導）

4 開かれた学校づくり○：成果 △：課題（+，-は前回比）

- ① 地域に貢献する学校
 - 地域ボランティア等への積極的な参加
 - △生徒自ら地域に関わろうとする意識づけと機会の設定
- ② 情報発信
 - 学校・学年・学級だよりとホームページでの情報発信の継続

【これから改善するポイント】

- 毎日の授業と家庭学習を充実・連動させて、学力向上をめざします。
 - ・教師は、より「わかる・できる授業」づくりと、授業後半を重視した指導に努めます。
 - ・必要感のある家庭学習の工夫と、学習意欲が高まるような声かけをします。
- 自分の長所や良さに気づかせ、善悪の判断を持ち、困難を乗り越えようとする強さとたくましさをも、一層伸ばします。
 - ・生徒と共に居て、生徒のようすを見取り、認め励まします。
 - ・いじめや嫌がらせの未然防止と早期発見のため、北中ノートや日常の会話、相談を充実させます。
- 「いつでも、どこで、誰にでも」自分からあいさつを意識させます。
 - ・生徒会活動を中核に据え、あいさつ指導を強化して、「北中生のあいさつは、いいなあ～」と評価されることをめざします。
- 生活リズムを整えます。
 - ・「SNSの利用について」学年集会等でも指導しながら、保護者と課題を共有していきます。
 - ・バランスの良い「朝食」を必ず取るよう、今後も継続して声かけします。
- 安全意識を一層定着させます。
 - ・防寒具着用と、手荷物は極力持たない指導を行います。
 - ・新型コロナウイルス感染症予防対策を継続します。
 - ・冬季における交通安全を、具体的な場面を想定しながら、繰り返し指導して、交通事故「0」を続けます。

今後も、お気づきのことやご相談等があれば、いつでも学校に声をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。